

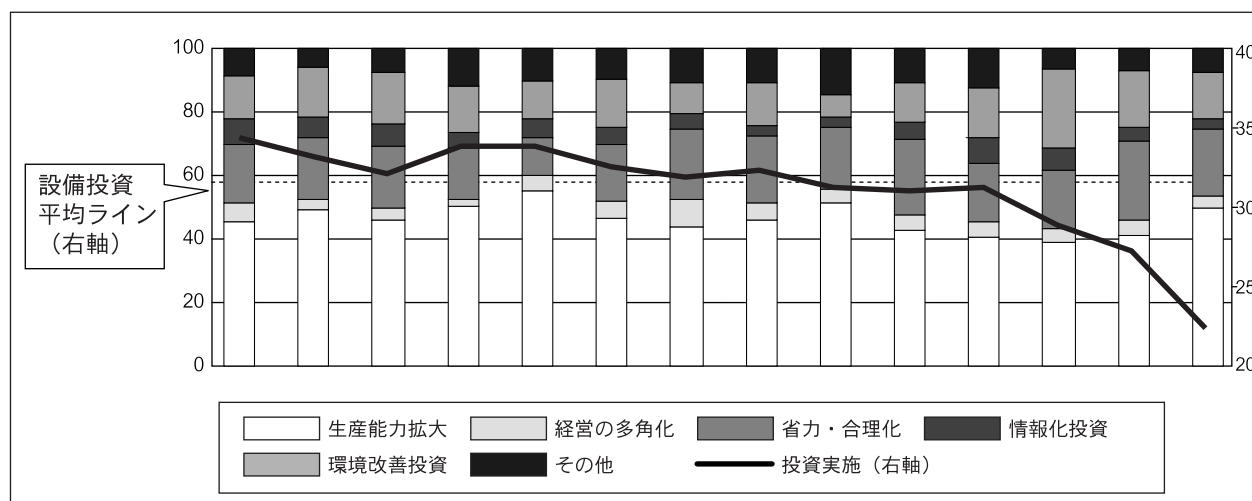
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	（%）													見込	予測	
	17年		18年				19年				20年					
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
投資実施	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	28.8	27.1	22.3		
投資せず	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	71.2	72.9	77.7		

設備投資の目的（実施先について）

	（%）													
生産能力拡大	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	38.7	41.0	50.0
経営の多角化	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	4.7	5.0	3.7
省力・合理化	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	17.9	25.0	20.7
情報化投資	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	7.5	4.0	3.7
環境改善投資	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	24.5	18.0	14.6
その他	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	6.6	7.0	7.3



- 20年4～6月に設備投資を実施した企業は全産業の28.8%であった。前期まで30%を上回っていたが20%台となった。先行きについても、20%台であり、低下予想となっている。製造業では35.2%、非製造業22.8%が設備投資を行っている。20年4～6月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が38.7%次に環境改善投資が24.5%と高いポイントとなった。
- 20年7～9月期に設備投資を予定している企業は全体の27.1%で、今期より低下している。設備投資の目的は、生産能力の拡大がトップとなり、次ぎに省力・合理化となっている。20年4～6月期において設備投資実施企業の割合が高かった業種は、電子部品製造、運輸業機械工業であった。先行きでも、電子部品製造は設備投資を予定しているポイントが高い。